

## 平成 25 年「第 1 回神奈川なでしこブランド」 ～横須賀で唯一の認定商品を開発した女性たちにインタビュー～

平成 25 年に実施された「第 1 回神奈川なでしこブランド」として、横須賀で唯一認定を受けた商品があります。その開発を担当した大草薬品株式会社の開発課長の阿部和美さんと、主任の野田和美さんに、商品の開発から認定に至るまでと、今後の展望などについてお話を伺いました。



### 商品開発にあたってのコンセプトを教えてください。

すでに出回っている同様の商品は主成分の配合量が不明であったり、ごく微量であったりと「単に入れておけばよい」という風潮があるのか、効き目が実感できないものが多いと感じていました。そこに違和感を覚え、パッケージのデザイン、味、中身の色など、細かいところまでこだわり、ターゲットである女性が手にとって試してみたくなるような商品を目指しました。

### 一番苦労された点を教えてください。

自社製品の販売に関わるのは中高年の男性が多く、女性の視点で開発された商品はあまり理解されなかったため、私たち自身が薬局へ直接商品コンセプトを説明しに行ったり、販売方法も何度も練り直しました。

### 商品に対しての社内外での反応はいかがでしたか？

既存の商品とは違った目線で開発された商品だったので、社内の営業担当からは、「売るのは難しいだろう」という声もあがっていましたが、しかし実際に店頭に並ぶと、多くの女性の皆さんに手にとっていただき、大変好評でした。

### 女性社員の活躍について、どのように感じていますか？

代表取締役の大草貴之さんにもお話を伺いました。

今までの流れでは、商品の価値は見た目や味より効き目が重要視されるなかで、女性ならではの視点でパッケージデザインなどにもこだわったという点で斬新な商品であっただけに、逆風も多い中でよくやってくれたと思います。今後も女性ならではの強みを生かして、仕事をしていただきたいです。